

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンクレイドル与野 新築工	階数	地上7F
建設地	埼玉県さいたま市中央区中里5丁目1147番1地	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	207 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年7月16日
敷地面積	1,999 m ²	作成者	株式会社スペース・コム 舟腰 健治
建築面積	833 m ²	確認日	2020年7月16日
延床面積	4,316 m ²	確認者	株式会社スペース・コム 舟腰 健治



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.2	Q2のスコア = 2.7	Q3のスコア = 3.0
音環境: 3.3, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.2, 空気環境: 3.6	機能性: 2.6, 耐用性: 3.0, 対応性: 2.5	生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.1	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 3.0
建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.3, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の使用削減: 3.1, 汚染物質回避: 3.3	地球温暖化への配慮: 3.0, 地域環境への配慮: 3.0, 周辺環境への配慮: 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
住宅性能評価で断熱性能等級3としている。敷地境界線際の植栽設置など、良好な緑地環境に配慮している。	-
Q1 室内環境 断熱性能等級3とし、外皮性能に配慮。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木及び緑地を設け、良好な緑地環境に配慮している。
LR1 エネルギー 断熱性能等級3、潜熱回収型給湯機、LED照明器具設備を採用することで省エネルギー化に配慮している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。
Q2 サービス性能 設備は、対応年数の長い配管材を使用し建物の高寿命化に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル PS,天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
(仮称)サンクレイドル与野 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40		-	3.2
1 音環境						4.0	0.15	3.3	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						5.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能		住居部:開口部遮音性能)T-2				5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能						3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1 昼光利用						3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率						3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		住居部:カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.7
1 機能性						2.7	0.40	2.6	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		①トイレ壁は耐水EP仕上げ ②トイレ床はビニル床シート ③エントランス床面の水洗浄可 ⑤風除室の1次扉、2次扉は1m以上確保 ⑥磁器質タイルを採用 ⑩外部に露出する金属部材にSUS等を使用 ①清掃用具の収納スペース確保				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		④廃棄物スペースの確保、搬出も容易な計画とする ⑤トイレにSKを設置 ⑥掃除用コンセントを設ける ⑧流しの排水トラップは、取り外し清掃可能 ⑨バルブ等は操作しやすい位置に設置 ⑩天井点検口600mm×600mm				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		LD:床フローリングt12,壁ビニールクロス(PBt12.5),天井ビニールクロス(PBt9.5)				4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水)水道用VLP管(B)、雑排水)排水用VLP管(B)、汚水排水)排水用VLP管(B)、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性		3.0	0.20		-	
1	空調・換気設備	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	3.0	0.20		-	
3	電気設備	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法	3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.5	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり		-	-	2.0	0.50	
1	階高のゆとり	-	-	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00			
1	空調配管の更新性	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20			3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.97	3.3	0.50		3.3
4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価		-	-			
4.1	モニタリング	-	-			
4.2	運用管理体制	-	-			
集合住宅の評価		3.0	1.00			
4.1	モニタリング	3.0	0.50			
4.2	運用管理体制	3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護		3.0	0.20			3.0
1.1	節水	3.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-			
2 非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60			3.1
2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	4.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避	3.5	0.70			
1	消火剤	-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	4.0	0.50			
3	冷媒	3.0	0.50			
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮		3.0	0.33			3.0
2.1	大気汚染防止	3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33			3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止	-	-			
1	騒音	-	-			
2	振動	-	-			
3	悪臭	-	-			
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.67			
1	風害の抑制	3.0	0.70			
2	砂塵の抑制	1.0	-			
3	日照障害の抑制	3.0	0.30			
3.3	光害の抑制	3.7	0.33			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30			